

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	露語第一		
英文授業科目名	Elementary Russian I		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	斎藤 毅		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
zvt03146@nifty.com	

【主題および達成目標】
<p>ロシアという国は、皆さんにとってはひょっとすると馴染みが薄いかもしれませんが、近年は飛躍的な経済成長をとげており、日本とは隣国同士でもあるため、日本とロシアとの交流は、現在ますます活発になってきています。今後の国際情勢の中でも、重要な位置を占める国となることは、間違いのないでしょう。</p> <p>また、ロシアでは伝統的に理系分野で優れた研究が行なわれており、理系研究者がロシア語を学ぶことは当たり前という時代もあったほどです。宇宙開発も、かつてはソ連がリードしていました。</p> <p>このように、ロシア語を学ぶことは、色んな意味で皆さんのプラスになることと思います。この授業では、「露語第二」とあわせて1年間で、ロシア語の最初歩を学び、さらにこの言葉を学んでゆくための基礎をつくることを目標とします。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

電気通信大学 平成20年度シラバス

【教科書等】

教科書：黒田龍之介『ロシア語文法への旅』（大学書林）
参考書：米重文樹『パスポート初級露和辞典』（白水社）

【授業内容とその進め方】

ロシア語文法の初歩を、文字の読み書きから学んでゆきます。この「第一」（すなわち前学期）の授業では、教科書の第7課まで進むことを目標とします。

授業では発音練習、単語・基本表現の習得に重点を置きます。そのため、ほぼ毎回の授業で小テストを行います。

ロシア語の学習の他、ロシアの文化・歴史・政治等の基礎知識についても話してゆくつもりです。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法

- 1) 平常点（出席、授業時に行なう小テスト、授業での参加態度など）
- 2) 学期末試験

評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とします：

- 1) 毎回の授業に出席し、課題をきちんとこなしている
- 2) ロシア語の文字を自由に発音し、書くことができる
- 3) 学習した範囲の文法事項を理解している
- 4) 学習した範囲の単語の意味が分かる

【オフィスアワー：授業相談】

質問・相談は授業終了後に受けつけますので、遠慮なく来てください。

【学生へのメッセージ】

絶対に途中であきらめず、無理をしてでも授業に出席し続けるという心構えでいてください。これが外国語習得には一番大切なことです。

【その他】

なし